

公明わらび

発行

戸田総支部
蕨支部

2016年春号



市議会議員
松本 徹
☎ 446-2093



市議会議員
高橋 悦朗
☎ 443-9110



市議会議員
大石 幸一
☎ 432-2450

新年あけましておめでとうございませう。
本年もよろしくお願ひ申し上げます。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

公明党蕨市議団

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございませう。

党員支持者の皆様におかれましては、益々お元気で新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、統一地方議員選挙、蕨市議会議員選挙と心からのご支援・ご支持・党勢拡大にご尽力を賜りまして深く感謝申し上げます。

これまでも一人の声に寄り添い、その声を政治に届けることを使命としてきた公明党は、本年の参議院選挙に向けて、地域も社会もすべては一人から始まるという信念のもと、「一人一人が輝き活躍できる社会」を目指し、4つの柱（①健康寿命を伸ばし、いつまでも元気に活躍を。」②子どもを大切に育む国へ。」③女性が活躍、若者が希望を持てる社会に。」④災害から暮らしを守り抜きます。」を掲げ、全力で取り組んでまいります。

私どもは、どこまでも現場第一。目の前の一人を大切に、国と地方のネットワークで、皆さまに安心して頂ける社会の実現を目指し、全力を尽くしてまいりますので、今後とも公明党蕨市議団に対する一層のご支援、ご指導を賜りますよう、心よりお願ひ申し上げます。

ご挨拶 市議会議員 松本 徹

新年、明けましておめでとうございませう。旧年中は大変にお世話になりました。

すよう、心からご祈念申し上げます。

さて、今年の干支は申。おさるさんのように、活発で行動力あふれる年にできたらと願っております。私ども公明党は結党52年目を迎えました。「大衆とともに」との立党の精神を改めて心に刻み、市民の皆様へ安寧と健康と幸福がもたらされるように、力を合わせて参る所存です。

夏には参議院選挙が予定されています。皆様には何かとお世話になりましたが、ご指導、ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

公明党埼玉県本部代表 参議院議員

西田 実仁



新年、明けましておめでとうございませう。旧年中は、公明党に對しまして、温かなご支援をいただき、誠にありがとうございます。皆様にとつて輝かしい一年になりました。

一般質問・要旨

高橋 悦朗 議員

オリンピック・パラリンピック 東京大会を本市の活性化につな げる施策について

〔質問〕ホストタウン構想について
の認識と参加検討はされているのか。

〔答弁〕2020年オリンピック・
パラリンピック東京大会開催に向
け、全国の自治体と参加国・地域
との相互交流を図り、スポーツ立
国・グローバル化の推進、地域の
活性化、観光振興の観点から、国
全体で推進する取り組みであると
認識している。埼玉県内では、バ
スケット、サッカー、射撃、ゴル
フが開催予定であります。今後
の可能性については、国や県の動
向を注視してまいります。

〔質問〕国の交付税を活用した事前
合宿の誘致や選手との交流活動事
業はできないか。

〔答弁〕市民と大会に参加するた
めに来日する選手や関係者、日本人オ
リンピア等との交流に係る経費の2
分の1が、交付税措置の対象となり
ます。市としては、選手との交流を
通じたまちの活性化策について、引
き続き調査研究していきます。

希望出生率1・8がかんう社会 の実現に向けてについて

〔質問〕結婚・妊娠・出産・子育て
と切れ目のない包括的な支援体制
さらに不育症支援・不妊治療助成
の拡充に向けてはどのようなか

〔答弁〕「子どもを産み育てやすい
環境づくり」を掲げて、育児家庭
のサポート体制の充実を図り、妊
娠から出産、子育てまで切れ目の
ない支援を推進していきます。蕨
市として、不妊治療助成事業を「蕨
市総合戦略」の具体的事業として
位置づけ、県事業との精査を図り
早期の実現に向け
取り組んでいきま
す。不育症支援に
ついては、県事業
として行っていま
すが、市としての
施策展開について
は調査研究します。



〔質問〕幼児教育の機会の確保、保
護者負担軽減のための幼児教育無
償化はできないか。

〔答弁〕幼児教育の無償化については、
国において閣議決定され「子ども
の貧困対策に関する大綱」に基づき
全ての子どもが質の高い幼児教育
を受けられるよう、幼児教育の無
償化に向けた取り組みを、財源の
確保しながら段階的に進めており
、その動向を注視していきます。

〔質問〕奨学金制度の拡充、給付型
奨学金の導入は検討できないか。

〔答弁〕本市では、経済的な理由で
就学が困難な市民に対し、無利子
の奨学金貸与事業として、高校生
は月額1万円、大学生には2万円
の貸与を行っています。国では、
無償教育の斬新的な導入に向け
、検討している状況であり、将来的

には給付型奨学金の創設に向けて
の検討も進めていくべきとの方向
性が記されています。その動向を
注視していきます。

〔質問〕定住促進にもつながらる新婚
家庭家賃補助制度の導入は検討で
きないかどうか。

〔答弁〕妊娠・出産を控えた新婚家
庭に住んで頂くきっかけとなる制度
であり、若い世代の定住促進策とし
て、先進的に実施する自治体があり
ます。本市では、「三世代ふれあい
家族住宅取得支援制度」を開始した
所であり、まずは利用状況や定住促
進の効果を見極めたいと思います。

個人番号カード申請について

〔質問〕個人番号カードを持つこと
のメリット・デメリット、今後の
カード申請周知と利用については、
どのように考えているのか

〔答弁〕個人番号カードを所有するメ
リットは、運転免許証を持つてない人
の身分証明書としての利用、また、
電子証明書として電子申請による確
定申告が可能となる点があります。
デメリットは、紛失した場合、個人
番号の記載情報が知られてしまう危
険性があるが、カードにはプライバ
シー性の高い情報は記載されておら
ず、また顔写真付きなので第3者に
よるなりすましは難しいと考えてい
ます。今後とも申請周知については
市ホームページ及び広報わらびで図り
ます。カード利用については、住民票
のコンビニ交付の導

入について推奨され
ており、自治体の
独自サービスとし
ては、印鑑登録証
や図書館利用カー
ドとの一体化等が記
されています。



〔質問〕カード申請のための庁舎に
おける写真機設置はできないか。

〔答弁〕庁舎における写真機設置は、
個人番号カード申請サービスに対
応した証明書写真機は、顔写真デー
タの撮影から個人番号カードの交
付申請までできるため、写真の切
り張りや郵送の手間がかからない
ものですが、機器のサポートや設
置場所の確保が難しいと考える。

スマートフォン・ネット依存防 止対策について

〔質問〕市内小・中学校におけるス
マートフォンの所有と使用状況は
どのようなか。

〔答弁〕スマホやキッズ携帯等を含
む携帯電話の所有率は、27年4月
の調査では、小学6年生で59.8%、
中学3年生で82%でした。スマホ
にかぎると中学生の所有率調査で
36%となっています。使用状況では、
1日、1時間から2時間程度の利
用が多く、利用目的としては、ラ
インや、チャットなど友達との交
流や家族の連絡となっています。

〔質問〕スマートフォン・ネットの
使用制限や校内規則はどのようなか。

〔答弁〕教育委員会では、スマート
フォンを含む携帯電話の学校への
持ち込みは原則禁止としています。
〔質問〕今までのスマートフォン使
用上の学校内・外におけるトラブ
ルとその対処はどのように行われ
てきたのか。

〔答弁〕個人情報流出やラインに
よるトラブル等がありました。そ
の際には、解決に向け、児童生徒
への指導や連携を図りながら、対
処してきました。各学校では、保
護者に対し、所持させる際には、
家庭でのルール作りやフィルタリ
ング等が実施されるよう情報提供
や啓発活動を行っています。

〔質問〕アウトメディア宣言をした
本市として、健全なる青少年育成
のために条例における規制は検討
できないか

〔答弁〕条例による規制は現在して
いませんが、本年度、子どもが主
体となった組織を中心に、携帯電
話・スマホに関するルールを策定
する取り組みを始めた所です。学
校・家庭・地域が連携し、策定後
は広く市民への啓発に努めます。

大石 幸一 議員

災害時対応の計画策定について

〔質問〕「災害廃棄物処理計画」の
策定について本市としてどのよう
に考えるか。

〔答弁〕近年の自然災害では、被害
が広範囲に及んで膨大な量の廃棄
物が発生することがわかってます。
その対応は市が行
うため混乱が予想
されます。今後、
環境省の災害廃棄
物対策指針を参考
にしながら、戸田市、
蕨市、衛生セン
ターの3者で協議
してまいります。



〔質問〕「災害廃棄物処理計画」の
策定に当たって、本市としてどの
ような課題があるか。

〔答弁〕生活ごみの収集体制の維持、
道路通行に支障がある場合の対応、
衛生センター敷地内外の仮置場の確
保、燃料の確保、ごみ処理業務に
使用する水の確保、非常用電源の
確保、焼却灰の搬出など様々な事
項が考えられます。今後、蕨市田
衛生センター組合の計画や、埼玉県
清掃行政研究協議会と締結してい
る「災害廃棄物等の処理に関する
相互支援協定」との整合性を考慮し
、検討を進める必要があります。

〔質問〕市内においてマンホールト
イレが設置されている施設は何力
所あるのか。また、本市としてど
のように考えるか。

〔答弁〕下水道管路へ接続していな
い貯留式のトイレ設備は、蕨市民
公園管理棟横や文化ホールくるる
横の公園内にございます。下水道
管路への接続構造をもったマン
ホールトイレ設置施設はございま
せん。マンホールトイレは、下水
道施設の機能が失われると使用で
きなくなることから、当面は現在
備蓄を進めているトイレ処理セッ
トや組み立て式トイレの更なる充
実を図ることにより、災害時のト
イレを確保してまいります。

〔質問〕上水道の地震対策BCPの
策定についてどのような考えを
持っているか。

〔答弁〕始めに、1番目の3点目「地
震対策BCP策定の考え」につきま
しては、大規模地震による被災時に

において、早期に配水機能を回復させ、
安定した給水を継続的に提供してい
くことは全庁的な課題であると捉え
ており、職員、資機材、ライフライ
ン等の制約を考慮した上で最重要課
題であると認識しております。今後、
関係部署等とも連携を図りつつ、調
査研究を進めていきます。

〔質問〕水道部において地震災害を
想定した図上演習もしくは復旧訓
練はしているのか。

〔答弁〕配水・受水の運用に関して、
災害時における被害状況をシミュ
レーションし水道部職員と浄水場運
転管理受託業者による図上演習を
行っております。内容といたしまし
ては、中央浄水場あるいは塚越浄
水場のどちらか一方にトラブルが生
じた場合を想定しての演習、復旧
訓練につきましては、災害時に破
断した管を遮断するための訓練や
応急給水訓練を実施しております。

新型インフルエンザ等対策行動 計画について

〔質問〕市職員が感染した場合の業
務継続計画はできているのか。

〔答弁〕「業務継続計画の作成」に
ついては、本市の基本的な方針を
示す行動計画ができたので、今後
業務継続計画の策定に向けた取り
組みをしてまいります。それにつ
いては、市として基本的な考えを
整理する必要性及び共通の課題も
考えられることから、新型インフ
ルエンザBCP、震災対策BCP、
情報通信技術B
CPの策定を健
康福祉部、市民
生活部、総務部
とで連携調整し
策定に向けて動
いてまいります。



「コミュニティ・スクール」について

〔質問〕「コミュニティ・スクール(学
校運営協議会)について本市は未
設置であるが、どのように考えて
いるのか」

〔答弁〕本市では、全ての小・中学
校で学校評議員制度を導入し、保
護者や地域住民等の意見を幅広く
求め学校運営に生かしております。
その結果、学校と地域コミュニティ
が一体となった教育活動が全校で
定着している学校評議員制度を継
続していくことが学校教育を充実
させていく上で重要であると考え
ており、コミュニティ・スクールの
設置につきましては、現在のと
ころ考えておりません。

〔質問〕「コミュニティ・スクールを設
置している学校は評価が高く、児童
生徒の学習意欲も高まっているよう
だが、市教委はどのように見ているか」

〔答弁〕本市では、各校で学校評価
の自己評価と併せて保護者等によ
る学校関係者評価を実施していま
す。その結果、学校教育に対して
概ね満足という評価をいただいて
おります。さらに、児童生徒の学
習意欲も高く、全国学力学習状況
調査におきましても、概ね良好な
結果となっております。教育委員
会では、コミュニティ・スクールの設
置の有無にかかわらず、児童生徒
や保護者等が満足のいくような学
校教育の推進に努めてまいります。

平成28年度当初予算に関わる 予算要望(158項目)を行う

平成二十八年度
当初予算に関する要望書

公明党蕨市議団

平成27年12月9日(水)に蕨市公明党市議団として158項目にわたる「平成28年度当初予算に関する要望書」を蕨市長に提出致しました。

公明党蕨市議団として重点事業を「南町における入浴利用券の活用場所の確保」「小中学校の児童生徒に対して防犯・防災対策の強化(安全ヘルメットの購入等)」「街頭犯罪防止の強化。(商店街、通学路、公園等に防犯カメラ・スローパー防犯灯の設置等)」「緊急避難場所の早期移設の実施」等を実現できると強く訴えて参りました。(詳細はHPに掲載しています。)

軽減税率8%を飲食料全般に導入=自公合意

12月13日戸田市文化会館にて西田実仁参議院議員の国政報告会が足元の悪い中、会場が一杯となり盛大に開催されました！

「軽減税率が酒類・外食を除く加工品も含めた食品全般で8%ということで合意した」ことのニュースが流れた翌日のタイムリーな時期に戸田総支部(蕨・戸田市)で、一番骨を折られた西田実仁税制調査会事務局長を迎えて行われました。

来賓に神保戸田市長、埼玉15区自民党田中良生衆議院議員、政治評論家森田実先生を迎え、党からは前国土交通大臣太田昭宏衆議院議員が挨拶に立ち、西田参議院議員のこの度の功績に触れ、激励の弁を熱く語って頂きました。

西田議員からは、連日深夜に渡る協議会のご苦勞や衆議院での連立政権の約束を守り、庶民の生活(負担軽減)を守ることができたことの喜びと今後の決意を話して頂きました！！

無事故で運営をしていただいた役員の皆様に感謝し、戸田・蕨市議団力を合わせ今後とも頑張ってまいります。



平成27年度 12月定例議会

平成27年第5回定例議会が、平成27年11月26日(木)より、12月16日(水)までの21日間の会期日程で実施されました。

12月議会は、市長提出議案18件、議員提出議案2件の審議が行われました。併せて最終日に蕨市選挙管理委員会委員及び委員補充員の選挙を行いました。

公明党市議団は、今議会は平成28年度予算に大きく影響を与える議会であることから、市民の代弁者として、生活者優先の住みよい活力のある街づくりを目指し、各常任委員会審議・一般質問等の論戦を展開致しました。その後、討論・採決を行い、閉会されました。

<http://www.komei-warabi.com>

※Yahoo で「公明党蕨支部」「蕨市公明党」と検索すると検索結果のトップページに掲載されています。